

「1人1台」附属函館中学校の 「これまで」と「これから」

2013年度からの学校所有機の貸与による「1人1台」、2017年度からのBYODによる「1人1台」、「これまで」の私たちの成果と課題をすべてお伝えし、「これから」を展望します。

令和3年11月5日(金) 14:40~17:00

無料

オンライン

80名

14:00 接続開始

14:40~14:55 開会式・概要説明

ブレイクアウトルームへの移動

15:00~16:05 テーマ別分科会（詳細は裏面をご覧ください）

	テーマ	助言者
1	「個別最適な学び」の実現を目指した国語科の授業	北海道教育大学 教授 内藤 一志 氏
2	一人一台の端末環境下での学びと生活	北陸学院大学 教授 村井 万寿夫 氏
3	学校所有機の貸与からBYOD/BYAD、アフターGIGA	東北学院大学 教授 稲垣 忠 氏
4	管理・運用、ルール	—

16:10~16:55 講演会

「世界から見た日本の教育の『これから』」

Google for education 日本統括

小出 泰久 氏



16:55~17:00 閉会式



お申込はこちらから

<https://forms.gle/rjtF75qtDoSJJYbj6>

ご不明な点がある場合は、お電話（0138-46-2233）でお問い合わせください

テーマ別分科会

	テーマ
1	<p>「個別最適な学び」の実現を目指した国語科の授業</p> <p>ICTを活用した遠隔からのティーム・ティーチングによる授業です。研究協力者と教科担任の4名が遠隔会議システムを活用して1つの教室に集まります。学習指導案と指導資料を活用しながら、「個別最適な学び」の実現に向けての授業を試みます。中学・国語科だけではなく、小学校や高等学校の様々な教科にも応用可能なアイデアを紹介します。</p> <p>※研究協力者 北斗市立上磯中学校 阿部奈央美 教諭 松前町立松前中学校 高橋 亜矢 教諭 北斗市立久根別小学校 澤田 詩織 教諭</p>
2	<p>一人一台の端末環境下での学びと生活</p> <p>2017年度から始まったBYODによる一人一台の端末環境下で、生徒の学びや生活がどのように進んでいったのか、実践報告をおこないます。同時に、これまでの実践の課題を明らかにしながら、今後の活用のあり方や可能性を考えていきます。</p>
3	<p>学校所有機の貸与からBYOD/BYAD、アフターGIGA</p> <p>2013年度から取り組んできた学校所有機の貸与が継続できなくなったとき、私たちがどのようにしてBYAD/BYODを考え、実現していったのか、報告を行います。とくに、保護者説明会や裏話など、具体的なエピソードを含めてお話しします。また、アフターGIGAを見据えて、データの利活用やPBLの可能性などを考えていきます。</p>
4	<p>管理・運用、ルール</p> <p>本校が実践しているBYOD/BYADでは、「端末選定」、「新1年生の購入手続き」、「端末の初期設定」などの作業を職員が担当し行っております。とくに入学後の管理・運用では、試行錯誤を繰り返し附属函館中学校の教育スタイルに合った形を模索してきました。端末の故障修理などから、利用における生徒指導事例まで幅広い視点でお話できればと考えています。</p>